

令和5年度 対馬市 SDGs アドバイザリーボード

日時：令和5年11月13日（月）15:30～17:30
場所：対馬市交流センター第1～3会議室
和室・オンライン（Zoom）

議 事 次 第

1. 開会
2. SDGs 推進本部長（市長）挨拶
3. 委員自己紹介
4. 議事
 - (1) 対馬市の SDGs 推進について
 - ①推進経緯
 - ②対馬市 SDGs アクションプランの要点と実行状況
 - (2) SDGs 推進に関する助言・意見交換
 - ①進め方・論点説明
 - ②グループでの委員助言・意見交換
 - ③全体共有・全体助言
5. 閉会

【配布資料】

- | | |
|----------|--------------------------------|
| 資料1 | SDGs アドバイザリーボードと SDGs 推進体制の全体像 |
| 資料2 | 対馬市における SDGs 推進の経緯 |
| 資料3 | 対馬市 SDGs アクションプランの要点 |
| 資料4 | 助言・意見交換の進め方と論点 |
| 参考資料1 | 対馬 SDGs パートナーズ一覧 |
| 参考資料2 | SDGs 推進に関する連携協定締結一覧 |
| 参考資料3 | データで見る対馬の SDGs |
| 参考資料（別冊） | 対馬市 SDGs アクションプラン概要版 |

出席者名簿

<アドバイザーボード委員>

阿部 治	公益社団法人日本環境教育フォーラム 理事長
池澤 正紀	公益財団法人自然保護助成基金 専務理事
出水 薫	九州大学大学院法学研究院 教授
上野 芳喜	一般社団法人対馬 CAPP 代表理事
小澤 卓	公益財団法人日本離島センター 調査課長
川口 幹子	一般社団法人対馬里山繋ぎ塾 代表理事
齊藤 ももこ	一般社団法人 daidai 代表理事
佐々木真二郎	環境省大臣官房地域政策課地域循環共生圏推進室 室長
佐藤 宣子	九州大学大学院農学研究院環境農学部門 教授
四夷 麻子	アスクル株式会社コーポレート本部 コーポレートコミュニケーション サステナビリティ (環境) 部長
清野 聡子	九州大学大学院工学研究院環境社会部門 准教授
代島 裕世	一般社団法人ブルーオーシャン・イニシアチブ 代表理事
山田 周作	SCG 経営デザインオフィス 代表
山本 郁夫	長崎大学 副学長 (産学連携担当)
吉野 元	一般社団法人 MIT 代表理事

(五十音順、敬称略)

<対馬市>

比田勝尚喜	対馬市長/SDGs 推進本部長 ○議長
俵 輝孝	対馬市副市長/SDGs 推進本部副本部長
伊賀 敏治	対馬市しまづくり推進部長/SDGs 推進本部員
阿比留忠明	対馬市観光交流商工部長/SDGs 推進本部員
村井 英哉	対馬市市民生活部長/SDGs 推進本部員
黒岩 慶有	対馬市農林水産部長/SDGs 推進本部員
阿比留正臣	対馬市市民生活部 次長兼環境政策課長
平川 純也	対馬市農林水産部 次長兼水産課長
桐谷 優	対馬市農林水産部自然共生課長
扇 徹弥	対馬市農林水産部農林しいたけ課長
財部 仁	対馬市しまづくり推進部 SDGs 推進課長
犬束 幸吉	対馬市観光交流商工部観光商工課長
中村 龍一	対馬市市民生活部環境政策課 参事兼課長補佐/SDGs 推進員
前田 剛	対馬市しまづくり推進部 SDGs 推進課 副参事兼係長
神宮 周作	対馬市農林水産部自然共生課 係長/SDGs 推進員
久保 伯人	対馬市しまづくり推進部 SDGs 推進課 専門官
糸瀬 富喜	対馬市観光交流商工部観光商工課 主任/SDGs 推進員
崔 春海	対馬市しまづくり推進部 SDGs 推進課 主事
岡本 遥香	対馬市しまづくり推進部 SDGs 推進課 SDGs 研究員

対馬市 SDGs アドバイザリーボードと SDGs 推進体制の全体像

区分	内容
趣旨	SDGs の総合的かつ効果的な推進に当たり、その達成に向けた課題に対する指導や助言を行う。
所掌事務	(1) 対馬市 SDGs アクションプラン策定及び実行に対する助言に関すること。 (2) SDGs の推進に係る市民及び地域団体の理解醸成及び企業等の参画及び協働手法等に対する助言に関すること。 (3) SDGs の理念に基づく施策の調査研究に対する助言に関すること。 (4) SDGs の理念に基づく具体的な施策の取組及びその進捗管理に対する助言に関すること。 (5) その他 SDGs の達成に向けた課題等に対する助言に関すること。
組織	SDGs の各取組分野に精通している大学研究者、有識者、企業関係者等の中から、20 名以内で組織し、SDGs 推進本部内に設置
会議	SDGs 推進本部長(市長)が招集し、本部長が議長を務める
報酬及び費用弁償	対馬市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例により支給
庶務	しまづくり推進部 SDGs 推進課

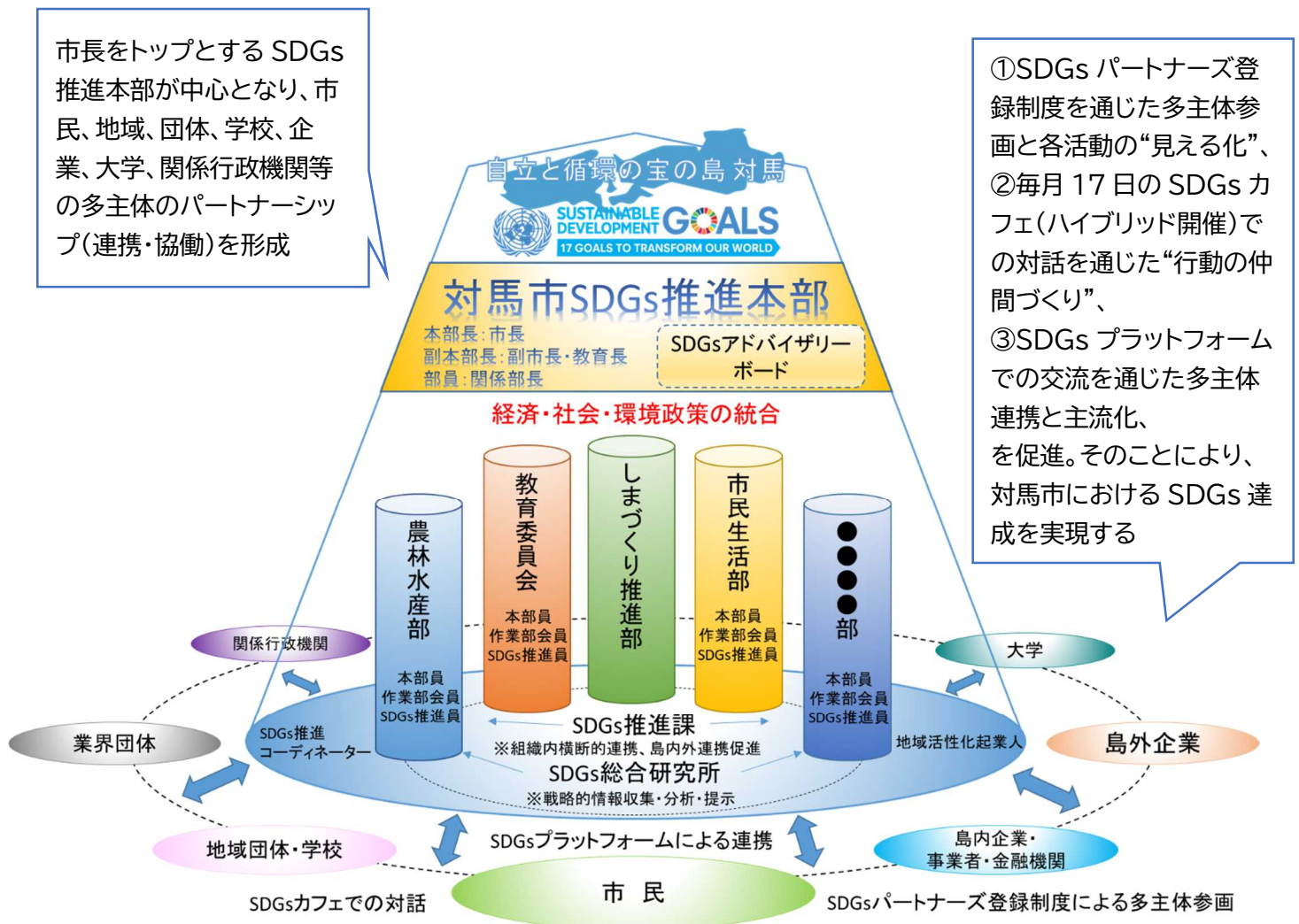


図1 対馬市 SDGs 推進体制図

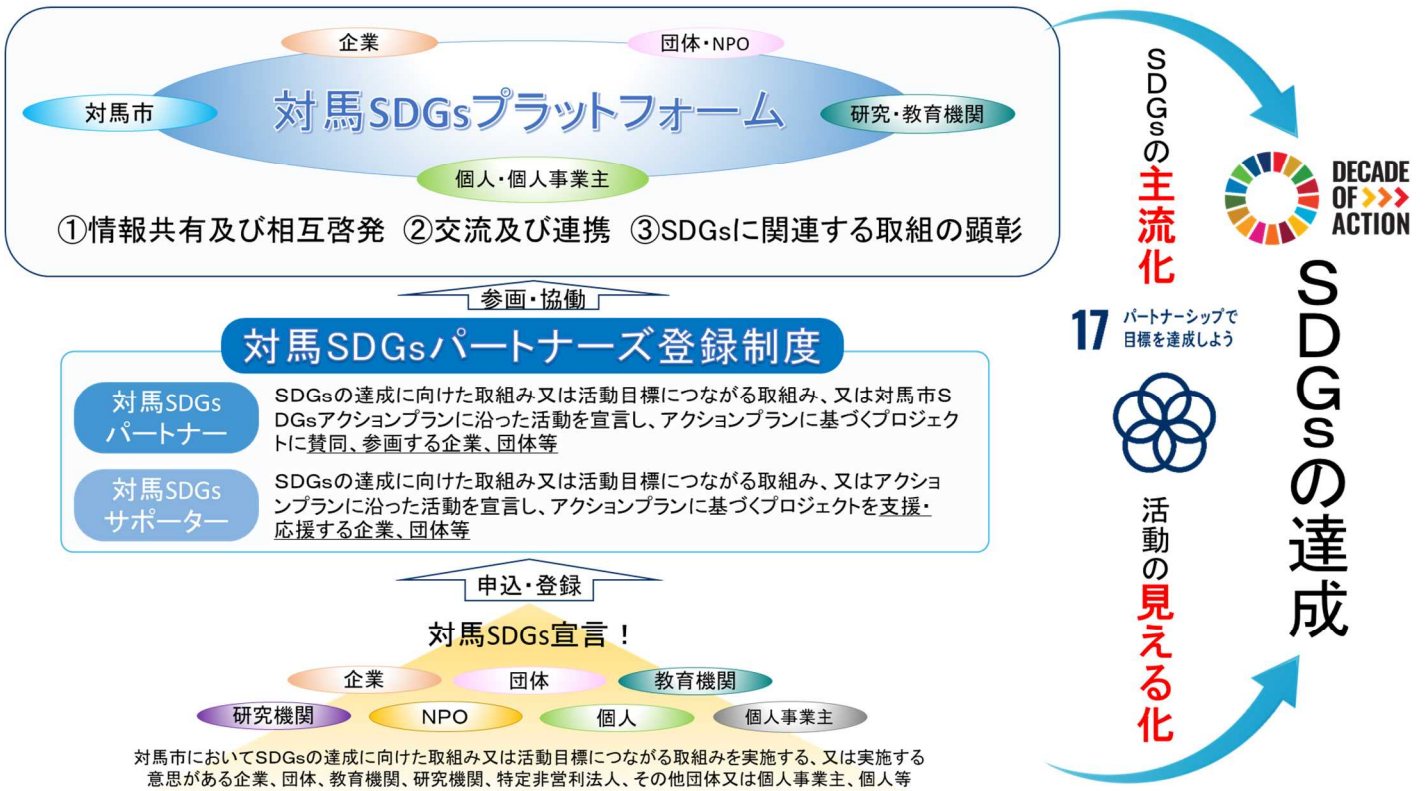


図2 SDGs パートナーズ登録制度及び SDGs プラットフォーム

2023 8.17 中対馬

対馬市SDGsパートナーズ(制度)をうまく活用して、他校やパートナー企業と連携して質の高い教育を子どもたちに提供したい!

スピーカー: 対馬市立西部中学校 高田 浩一 校長先生

対馬ではじめてSDGsパートナーズに登録をした学校です!

4 質の高い教育をみんなに

①. 小中学校のパートナーを増やすには? 学校にもっと知ってもらい!

本校長会、教員会など管理職への説明
▶ 制度をうまく活用して専門家と一緒に説明する
前田さん MIT 平山先生
退職された校長会ならもっとアリアにお話しできるが!

SDGsパートナーに登録するメリットを伝える
① 専門知識を持った講師を呼べる
先生にこの便利のメリットをアピール!
先生が頼みやすい環境を整える!
先生にこの便利のメリットをアピール!
先生が頼みやすい環境を整える!

② 外部の専門家に依頼できずとも
進路の参考
子どもは知らない知識を知る喜び

③ ビッグプロジェクトを実行できる
学校と企業が連携しやすい
くみあひ(コーディネーター)

SDGsって難しい、何とてあんなに分らないんです...
という先生たちの対策
子どもたちの活動にプラスする
新しいことをやらない!
楽しい!おもしろくする!
先生が学べる環境がほしい!
SDGsの専門人材がほしい!

④ マラソン大会 + ごお掛けい
10日くらいお休み
先生が学べる環境がほしい!
SDGsの専門人材がほしい!

⑤ 教員ごとの温度差がある
教員の採用試験にSDGsの項目をく
取組実践の情報共有
みんなに見える場所に取組実践を貼って紹介する
学校間取組実践を共有する

課題: 連携を促すコーディネーターが必要! (専任)

②. 学校・企業・個人と連携するには? 学校からの参加を増やしたい!

高田先生が「楽しんで取組をお話することが一番のゴール!」
高田先生のお話を聞いて、西部中学校のファンが増えちゃ!

ぜひ、対馬の校長先生の校長先生になっちゃい!

他校と連携できるしくみを作る
▶ 学校それぞれで完結してしまう総合学習を情報共有したい!
先生同士の口コミで広がることも!

リマウラボラジミの保全の取組
一緒に活動できる!
西部中学校 ∞ 佐須奈小中学校

▶ 他の学校で関心を持つ生徒同士が集まった活動する場所や機会の提供
対馬少年倶楽部
対馬青年の会取組

学校のHPを作る
▶ 子どもたちに広げてもらう...タブレットを持っているので授業の延長上で制作する

島内へのPR
▶ 新聞 { SDGsパートナーになるまで
▶ CATV { 取材してもらって
▶ 情報発信が得意なひとと一緒にPRする
詩詞園と活用して連携

学校① 学校② 島外の学校
企業 コーディネーター 専門家 地域

SDGsパートナーになることでつながりを持つことがメリットになるように!

対馬市SDGsパートナーについてくわしくは対馬市HPをご覧ください!

図3 SDGs カフェのまとめ例。毎月島内外約20名が参加(会場/オンライン開催)。環境・社会・経済の課題解決や新しい価値創造に挑む人の話を聞き、ブレインストーミングを通じてみんなで応援

対馬市における SDGs 推進の経緯

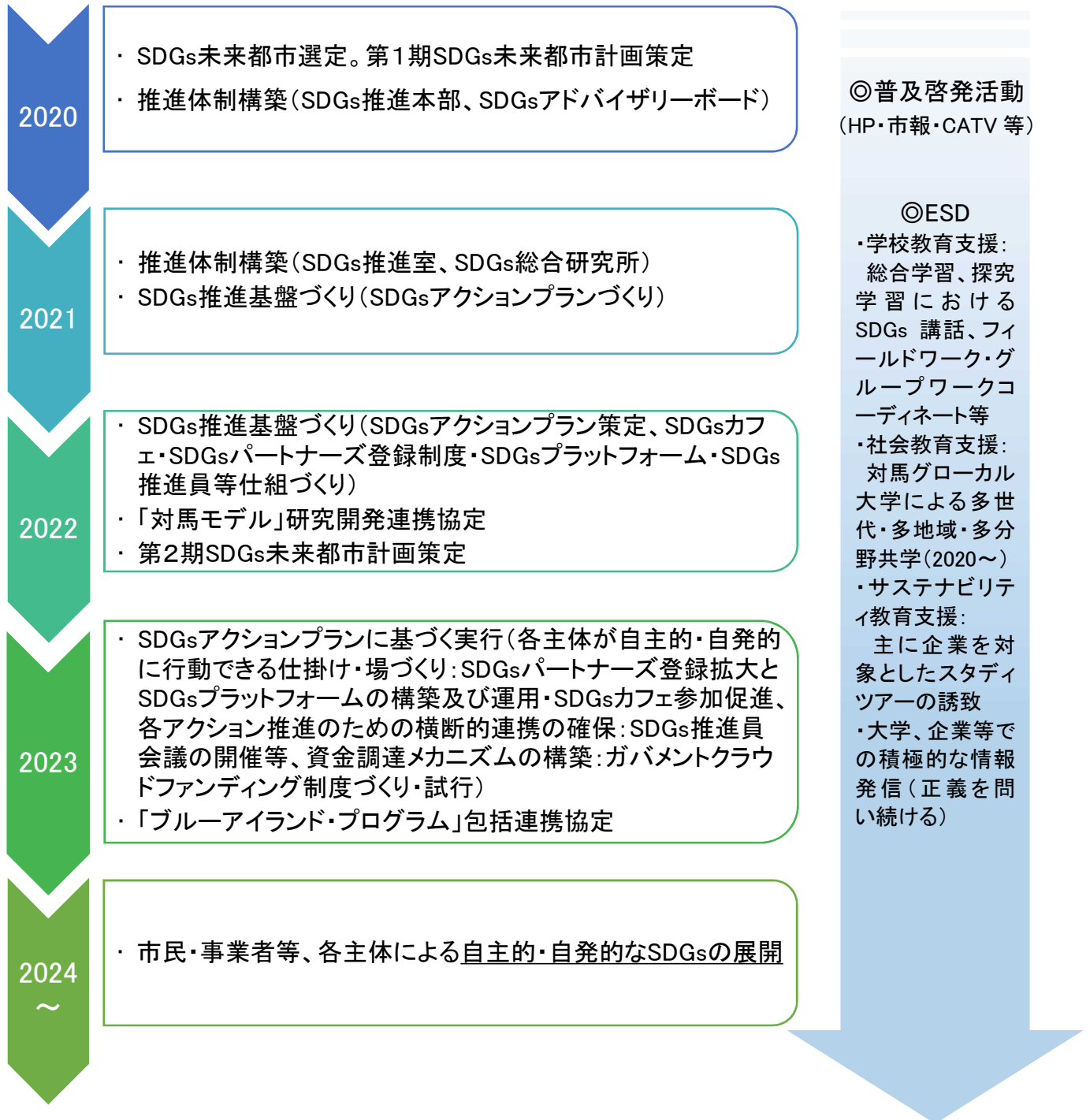
＜対馬市 SDGs 推進本部の短期目標＞

**誰一人取り残さず、全員参加で各主体が自主的・自発的に
SDGs 達成に向けて活動できるようにする**

＜年次フロー＞

行動をみんなで起こすための仕組づくり

人づくり・仲間づくり



「誰一人取り残されることなく」いつまでも安心安全に対馬に暮らし続けられるよう、**SDGsの視点から捉えた対馬の将来像、方向性、行動や仕組み等を示した計画**です。

理念 SDGsを通じて環境・社会・経済の三側面を調和させ、これから起こりうるリスクを乗り越えながら、誰一人取り残さない持続可能な社会を形成する

将来像 2050年も島に誇りと高い幸福度を感じながら安心安全に暮らせ、持続可能なしまづくりのモデルとして日本・世界の見本となる島

対馬の持続可能性を高めるには？

(グローバルリスク、人口減少・超高齢化に耐えられる強いしまづくり)

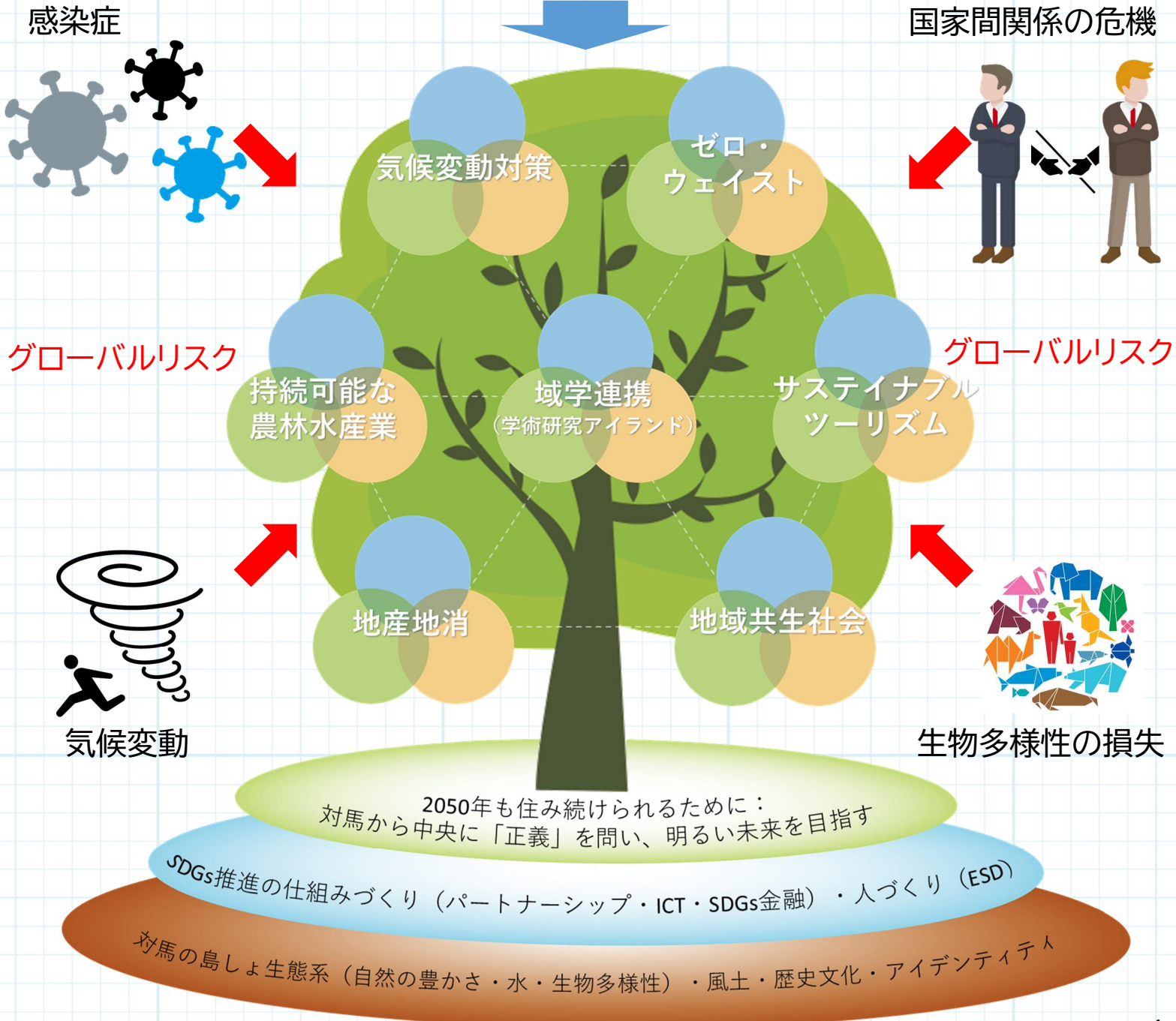


図 7つの重点アクションと3つの土台

プランづくりの経緯



・SDGs推進本部会議

- ・市民アンケート(約300世帯)
- ・既存施策とSDGsの紐づけ作業

・SDGsアドバイザリーボード

- ・市民ワークショップ(3回)
- ・対馬グローバル大学「高校生ゼミ」でのプランづくり

・SDGs推進本部作業部会

・SDGsアドバイザリーボード

・SDGs推進本部会議

・全部局意見等照会



高校生ゼミ

プランの構成と意義

- 第1章 行動理念・将来像・SDGsの解説・計画の意義等
- 第2章 7つの重点アクションと3つの土台
- 第3章 行動をみんなで起こすための仕組み
- 第4章 実現に向けたロードマップ
- 資料編 用語の解説等

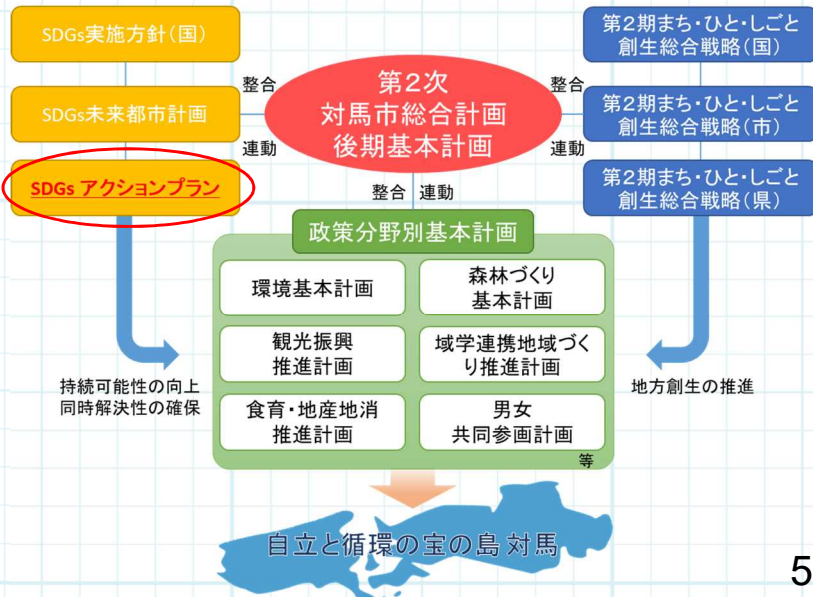
対馬の先を見据えながら対馬の未来を示すみんなの羅針盤として機能。プランを見ることで、SDGsの理解を深め、実際に行動に移し、対馬の明るい未来を拓くきっかけになることを期待しています。



プランの位置づけと期間

総合計画と、政策分野別の基本計画、そしてそれらの計画に基づく施策・事業をSDGsの特徴(環境・社会・経済の調和と同時解決性)から補完し、各施策・事業の効果を高め、持続可能なしまづくり資するような横断的計画として位置づけます。

2030年までを計画期限とします。3年ごとに見直しますが、市民意見、専門意見、社会情勢に柔軟に対応し、随時、行動や仕組みの追加・修正を行います。



行動をみんなで行くための仕組みづくり

区分	施策
行動を起こせる人づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育、社会教育でのSDGs教育支援 ・対馬グローバル大学の運営
気軽に集まり、対話を楽しみながら学び合い、みんなで行動に移せる仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsカフェ
個人、地域団体、島内外の企業、大学研究機関等との交流とマッチングを促すための仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs推進プラットフォーム
アクションを応援する仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・対馬SDGsパートナーズ登録制度
SDGs行政の仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs政策体系との整合化作業 ・SDGs推進職員と基幹人財の配置 ・データや専門助言に基づくSDGsの推進 ・業界等関係団体へのアプローチと連携 ・SDGs金融等資金調達メカニズムの構築



現状・課題

- 庁外の仕組みづくりは80%程度達成。あとは中身・質
- 市民の関心層の関わりの固定化・無関心層へのアプローチ
 - 対馬オリジナルSDGsピクトグラム作成
 - 対馬弁での表現ゴール18の創作等
- 学校教育支援の要請急増。積極的に対応しつつも、拡大に向けてはコーディネーター・プレイヤー不足
 - パートナーズとの連携を強化等
- SDGs行政の仕組みづくりの進捗は20%程度 (SDGs推進員配置、GCF試行等)
- 7つの重点アクションについては、アクションプランで例示を示しつつ、実行に向け、今後、SDGs推進員制度やSDGsカフェ・プラットフォーム等を通じて調整をかける状況
- 第2期SDGs未来都市計画期間中、特に注力する取組みとして掲げた「対馬モデル」や「対馬マリン・リビングラボ」(特に対馬未来会議)を通じて、7つの重点アクションの統合的な展開を加速させたい

助言・意見交換の進め方と論点

【進め方】

- ・ 委員数と時間の関係上、グループに分かれ、各テーマに関するご助言をお願いします
- ・ 全体セッションにてグループ助言のポイントを共有したのち、仕組づくり等全体に関するご助言をお願いします

区分		Group1	Group2	Group3
重点 アクシ ョン	担当アクション	持続可能な 農林水産業	サステイナブル・ ツーリズム	ゼロ・ウェイスト
	共通アクシ ョン・3つの土台	地域共生社会・地産地消・気候変動・域学連携 3つの土台(生態系・文化等の保全、仕組みづくり・人づくり、正義)		
委員		池澤委員	出水委員	阿部委員
		齊藤委員○	上野委員	四夷委員
		佐藤委員	小澤委員	代島委員
		清野委員	川口委員○	山本委員
		山田委員	佐々木委員	吉野委員○
関係 部局	本部長	黒岩	阿比留	村井
	次長・課長	平川・桐谷・扇	犬束	阿比留
	SDGs 推進員	神宮	糸瀬	中村
事務局		前田	財部	伊賀
			崔	久保・岡本

○:グループ座長・ファシリテーター

【論点】

目標年(2030年)までの折り返し点を通過した今日、SDGsの達成は危機的状況にあるとの認識が国際社会で示されています。「行動の10年」において、対馬市が「対馬市SDGsアクションプラン」を指針に、社会変化に柔軟に対応しつつ、未来志向で、即効性・先見性のある行動を展開できるよう、以下の観点でのご助言をお願いします。

- ① 対馬を取り巻く環境変化、社会の趨勢を踏まえて留意すべき点
- ② 同時解決性が高く、特に注力して(目標を前倒して)取り組むべき行動と具体策
- ③ 追加すべき行動と具体策
- ④ 改善、あるいは見直すべき行動

対馬 SDGs パートナースー覧

2023.10.17 現在

登録の種類	種別	企業・団体・個人名
パートナー	企業・団体等	伊藤忠商事株式会社
パートナー	企業・団体等	株式会社 A company
パートナー	企業・団体等	株式会社 SNC
パートナー	企業・団体等	SCG 経営デザインオフィス
パートナー	企業・団体等	株式会社エネルギーエージェンシーつしま
パートナー	企業・団体等	株式会社エルコム
パートナー	企業・団体等	環境省対馬自然保護官事務所敵原事務室 (ツシマヤマネコ野生順化ステーション)
パートナー	企業・団体等	環境省対馬自然保護官事務所(対馬野生生物保護センター)
パートナー	企業・団体等	九州電力送配電株式会社 対馬配電事業所
パートナー	企業・団体等	九州郵船株式会社
パートナー	企業・団体等	コミュニカーレ株式会社
パートナー	企業・団体等	株式会社コミュニティメディア
パートナー	企業・団体等	サラヤエスビーエス株式会社
パートナー	企業・団体等	下原美しい隊
パートナー	企業・団体等	住友大阪セメント株式会社
パートナー	企業・団体等	株式会社セイコーインターナショナル
パートナー	企業・団体等	Team Tsushima
パートナー	企業・団体等	有限会社中央産業
パートナー	企業・団体等	特定非営利活動法人対馬次世代協議会
パートナー	企業・団体等	対馬 SDGs 劇団ともに
パートナー	企業・団体等	対馬市立西部中学校
パートナー	企業・団体等	対馬地区漁協女性部連絡協議会
パートナー	企業・団体等	株式会社対馬地球大学
パートナー	企業・団体等	株式会社バイオマスアグリゲーション
パートナー	企業・団体等	博多海陸運送株式会社対馬支店
パートナー	企業・団体等	博多海陸運送株式会社比田勝営業所
パートナー	企業・団体等	ボラ佐須奈「角跡(つこのあと)」
パートナー	企業・団体等	長崎県立対馬高等学校
パートナー	企業・団体等	長崎県立対馬青年の家
パートナー	企業・団体等	株式会社中原建設
パートナー	企業・団体等	日本生命保険相互会社福岡総合支社
パートナー	企業・団体等	有限会社丸徳水産
パートナー	企業・団体等	一般社団法人 MIT
パートナー	企業・団体等	株式会社ヤマツブ
パートナー	企業・団体等	株式会社リングスター
パートナー	企業・団体等	WORDS Gallery
パートナー	個人	内山 真里
パートナー	個人	梅野 美実

パートナー	個人	坂田 彰子
パートナー	個人	巴山 剛
パートナー	個人	村岡 幸代
パートナー	個人	森脇 崇
パートナー	個人	office SOTO 山下幸恵
パートナー	個人	王 威漢
サポーター	企業・団体等	～石窯ピザとパン～赤坂倶楽部
サポーター	企業・団体等	合同会社 OTTER
サポーター	企業・団体等	株式会社サイキ
サポーター	企業・団体等	有限会社左衛門
サポーター	企業・団体等	公益財団法人自然保護助成基金
サポーター	企業・団体等	株式会社十八親和銀行
サポーター	企業・団体等	西部環境調査株式会社
サポーター	企業・団体等	つしま大石農園
サポーター	企業・団体等	那須どうぶつ王国
サポーター	企業・団体等	パタゴニア・インターナショナル・インク日本支社
サポーター	企業・団体等	合同会社ビーコンつしま
サポーター	企業・団体等	ライトンコスモ株式会社
サポーター	企業・団体等	リーガルナビ行政書士法人
サポーター	個人	武田 暢博
サポーター	個人	梅野 浩二

※サポーター個人 非公表人数 4名

パートナー 44者

サポーター 19者

パートナーズ 63者

SDGs 推進に関する連携協定締結一覧

協定(覚書)	締結時期	相手方	連携目的	連携事項
対馬市と一般社団法人ブルーオーシャン・イニシアチブとのブルーアイランド・プログラムに関する包括連携協定書	R5.5.8～	一般社団法人ブルーオーシャン・イニシアチブ	双方の資源、ノウハウを有効に活用した包括的な連携により、SDGs、特にゴール14「海の豊かさを守ろう」とゴール13「気候変動に具体的な対策を」の達成に向けた取り組みを通じた「海のいのち」と共生社会」を実現する	(1)ブルーアイランド・プログラムに関する事項 (2)海洋プラスチック削減に関する事項 (3)海洋資源保全と海産業活性化に関する事項 (4)海洋と気候変動対策に関する事項 (5)その他両者が協議して必要と認める事項
対馬市と日本郵便株式会社との包括的連携に関する協定書	R4.12.14～	日本郵便株式会社 (対馬市内郵便局)	双方の人的・物的資源を有効活用し、市民サービスの向上等を図る	(1)安心・安全な暮らしの実現に関すること (2)地域経済活性化に関すること (3)未来を担う子どもの育成に関すること (4)SDGsの推進に関すること (5)その他、地方創生に関すること
対馬市と株式会社博多大丸とのSDGs推進に関する包括連携協定書	R4.11.12～	株式会社博多大丸	双方の資源、ノウハウを有効に活用した包括的な連携により、SDGsの達成に向けた取り組みを通じた「くらしの“あたらしい幸せ”」を創造する	(1)地域社会との共生に関する事項 (2)サーキュラーエコノミー(循環経済)の推進に関する事項 (3)脱炭素社会の実現に関する事項 (4)その他両者が協議して必要と認める事項
「対馬モデル(循環経済モデル)」の研究開発に関する連携協定覚書	R4.9.20～	サラヤ株式会社、株式会社関西再資源ネットワーク、特定非営利活動法人ゼリ・ジャパン、一般社団法人関西経済同友会	「国際的な海ごみのホットスポット」に位置し、「ごみゼロアイランド」を目指す対馬市において、5者のリソースを有効利用した連携により、「対馬モデル」(循環経済モデル)を研究開発する。2025年日本国際博覧会の機会にアジア太平洋諸国へモデル提案し、グローバルでのプラスチック問題解決、SDGs及び大阪	(1)対馬モデルの研究開発に関する事項 (2)海洋プラスチックごみ対策をはじめとするSDGs推進に関する事項 (3)その他5者が協議して必要と認める事項

			ブルー・オーシャン・ビジョン達成に貢献する	
シダックス株式会社と対馬市との持続可能なしまづくりに関する連携協定書	R3.6.16～	シダックス株式会社	持続可能なしまづくりに向けた取組について、双方の資源、人材、ノウハウ等を活用することにより、地域社会の持続的な発展に資する	(1)人材の育成、交流に関すること (2)持続可能なしまづくり・地域づくりの取組推進に関すること (3)その他、地域課題の解決や地域の活性化に関すること
長崎県対馬市とアスクル株式会社とのSDGs連携協定書	R3.3.24～	アスクル株式会社	双方の資源、ノウハウを有効に活用した共同による活動を推進することにより、相互において、SDGsの達成に向けた取り組みを進める	(1)サーキュラーエコノミー(循環経済)の活性化に関する事項 (2)海洋プラスチックゴミ対策の推進に関する事項 (3)その他両者が協議して必要と認める事項
対馬市とKDDI株式会社とのSDGs推進に関する包括連携協定書	R3.2.16～	KDDI株式会社	SDGsの推進に向けて相互に連携し、地域の活性化、課題解決に対して協働して取り組み、双方の資源(IoT及びLTE、5G等のICT技術を含む)を有効に活用することにより、地域社会の持続的な発展に資する	(1)生物多様性保全の推進に関する事項 (2)産業へのICTの導入・活用に関する事項 (3)交流人口、関係人口の拡大に関する事項 (4)人材の育成に関する事項 (5)その他「対馬市SDGs未来都市計画」の達成に向けた取組に関する事項
持続可能なしまづくり(SDGs)に関する包括連携協定書	R3.1.25～	九州電力株式会社	双方が、持続可能なしまづくりにおける連携を通じて、SDGs推進に関すること及び地域課題の解決を図る	(1)産業振興に関すること (2)防災に関すること (3)誰もが安心して暮らせる持続可能なしまづくりに関すること (4)前3号に掲げるもののほか、地域課題の解決や地域の活性化に関すること

データで見る対馬のSDGs

対馬市SDGs総合研究所編

◎行政区：長崎県対馬市(2004.3.1に厳原、美津島、豊玉、峰、上県、上対馬町が合併)

◎位置：釜山より49.5km、福岡市より147km

◎面積：708km² ◎土地利用：森林89%、耕地1%、その他9% ◎構成：対馬島、100以上の小島、6の有人島から成る

◎人口：27,957人(2023.9,住民基本台帳) ◎集落数：125(半数は200名未満の小集落)

参考資料 3

1 貧困をなくそう



- ◎生活保護世帯・人員数：708世帯889人(2023.8)
- ◎ひとり親世帯等宅食支援数：39世帯(2022年度)
※対象子ども数：90名(2022年度)
- ◎食の自立支援数：3,389人(2022年度)
独居老人世帯、老々介護世帯等への配食サービス

2 飢餓をゼロに

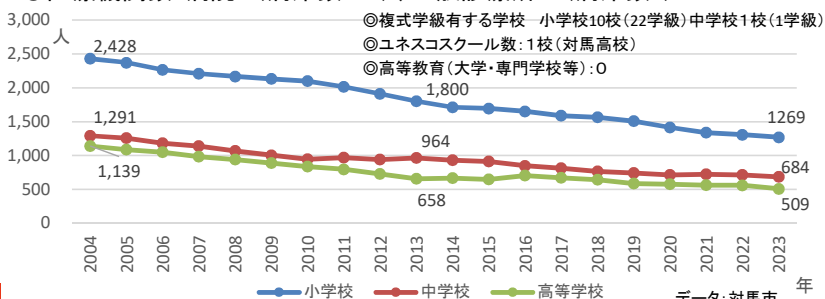


- ◎食料自給率：約40%(カロリーベース)

3 すべての人に健康と福祉を



- ◎標準化死亡率：男110.5、女109.6(2020.7厚生労働省公表値)
- ◎交通事故死傷者数：死者数1名、負傷者20名(2022年)
- ◎出生率：2.21(合計特殊出生率：2020.7厚生労働省公表値) ※全国11位
- ◎高齢化率：38.6%(2020年度国勢調査)
- ◎介護認定者人数：2,433人(2020.3)
- ◎医療機関数：病院2(病床数335)、一般診療所24(病床数6)



4 質の高い教育をみんなに



- ◎複式学級有する学校：小学校10校(22学級)中学校1校(1学級)
- ◎ユネスコスクール数：1校(対馬高校)
- ◎高等教育(大学・専門学校等)：0

5 ジェンダー平等を現しよう



- ◎女性市議会議員数：1議席/19議席
- ◎対馬市女性管理職数：7人(2023.4)
- ◎対馬市男性職員育児休暇取得率：0%(2023.10)
- ◎対馬市各種審議会等女性委員割合：27.5%(2023.4)

6 安全な水とトイレを世界中に



- ◎上水道普及率：99.9% ◎基本水道料金：1,320円/月
- ◎年間給水量：3,944千m³、1人1日平均給水量385リットル(2022年度)
<水源>地表水46.9%(表流水31.06%、ダム15.78%)
地下水53.1%(伏流水26.25%、井戸26.89%)
- ◎下水道普及率：0% ◎合併浄化槽普及率：40.4%(2022年度)

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



- ◎電力：内燃力発電 定格出力55,100kW(九州電力。島内2ヶ所)年間供給実績168,318MWh(2021年度)
- ◎再生可能エネルギー発電：九州電力への接続設備10,742kW(風力発電1,500kW 太陽光高圧3,740kW 太陽光低圧5,502kW)
- ◎木質バイオマス：利用可能量13,005t/年
- ◎木質チップボイラー導入施設数：公共2施設、民間2施設(2021年度)
- ◎低炭素機器(LED照明・木質バイオマスストーブ等)導入補助件数：305件(2013~2018年度)
- ◎ハイブリッド・プラグインハイブリッド車導入台数：普1,008台、軽617台(2021年度)

8 働きがいも経済成長も



- ◎総生産：95,138百万(2020年県民経済計算) 1人あたり経済規模3,338千円
- ◎入込客数(実数)：180,678人(2022年)
うちインバウンド数911人 ※宿泊客実数
- ◎雇用機会拡充支援事業採択件数：201件(2017~2023年度)
- ◎有効求人倍率：1.42倍(2023.8)

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



- ◎外国からの労働者(特定技能・技能実習者数)：51名/216名(在留資格者、2022.12)
- ◎対馬市CATVインターネット加入数：5,852件(2023.9)
- ◎ICT教育：2018年に市内全中学生にLTEタブレットを導入(1,320台) 2021年度以降、小学生・高校生に1人1台配備

11 住み続けられるまちづくりを



- ◎公共交通空白地対策：スクールバス混乗9路線、コミュニティバス1路線、予約制乗合タクシー4路線 福祉有償運送1事業者
- ◎自動車保有台数：乗用車5,769台、軽自動車16,630台(2020年度末)
- ◎レギュラーガソリン：199円/リットル(店頭小売価格平均) 全国177円/リットル(2023.10)
- ◎地域運営組織数：0 ◎自主防災組織数：19(2023.4)
- ◎洪水ハザードマップ作成流域数：2河川(厳原・佐護)

12 つくる責任 つかう責任



- ◎一般廃棄物排出量：11,658トン(2022年度)
- ◎生ごみ回収量：338.0トン ◎生ごみたい肥化量：31.2トン(2022年度)
※回収参加世帯数2,207

